

第2章 歴史

者たちが、後に大山御師という固有の存在となっていく。また、天明の時代になると、江戸の多くの民衆が大山参詣を講的な集団として行うようになり、大山講と称されるようになる。

当館以外に国立国会図書館、東京都立中央図書館、横浜国立大学附属図書館、横浜市立大学学術情報センター、横浜市図書館、伊勢原市立図書館をはじめとする県内公共図書館で所蔵が確認できる。

■ 作者

『伊勢原市史 別編 社寺』は、伊勢原市史編集委員会で大山・社寺部門担当の圭室文雄専門員が監修にあたり、同専門員と松岡俊専門補助員が分担執筆・校正をしたものである。

圭室文雄は、執筆当時、明治大学商学部の教授であり、主な著書に『江戸幕府の宗教統制』、『神仏分離』がある。

松岡俊は、平成30年現在、産業能率大学情報マネジメント学部の教授で、伊勢原市史の編纂のほか、寒川町史の編纂にも携わっている。主な著書に、『江戸の参詣講』がある。

参考文献

『江戸幕府の宗教統制』 圭室文雄著 評論社 1971（日本人の行動と思想 16） [160.8/5/16]

『神仏分離』 圭室文雄著 教育社 1977（教育社歴史新書） [161.2/106]

『伊勢原市史 資料編 大山』 伊勢原市史編集委員会編 伊勢原市 1994 [K21.64/7/2-2]

『伊勢原市史 資料編 続大山』 伊勢原市史編集委員会編 伊勢原市 1994 [K21.64/7/2-2-2]

『江戸の参詣講』 秦野市 1995 [K38.63/21]